

2018年(平成30年) 4月発行

な か ま

第54号



発行者 益田市保育研究会
情報発信委員会
事務局 〒698-0036
益田市須子町3-1
TEL 23-3607
FAX 22-3554

この春、前年度の年長児さんが卒園して、寂しい思いも残りつつ、新入園児さんを迎えられ新しい雰囲気の中かで平成30年度がスタートしたことと思います。今回の益田市保育研究会の情報誌『なかま』の発行で記念すべき第54号となりました。これからも引き続き、研究会事業や各委員会の活動報告、会員さんが現場等で参考になるような情報発信をしていきたいと考えております。会員さんからも『なかま』に載せてほしい情報などありましたら研究会又は情報発信委員会までお知らせください。

‘人に任せて、人を育てる’ 自分でやっではだめ！ リーダーに必要な3つの心得

リーダーの立場にいる人の中で、「メンバーに任せた仕事がかうまくいかないから、結局、自分でやったほうが早い！！」と思って、自分が対応をしてしまった！」そんな経験をしたことがある人はかなり多いのではないのでしょうか。

確かにいきなりメンバーに仕事を任せても、メンバーが混乱してしまうのは当然のことですし、また、リーダーの立場からしたら「どうして当たり前のことができないんだ！」となってしまいます。でも、よく考えてみて下さい。この時点で、すでにリーダーとメンバーの気持ちは、大きくすれ違っていませんか？ お互いに信頼関係をうまく結び、意思疎通が出来ていれば、こうした状態に陥る前に、うまい対策が講じられているはずです。

リーダー自身が「自分でやったほうがはやい」と思ってしまっていると、そんなリーダー自身の意識やあり方が周囲に影響し、メンバーがなかなか育たない、仕事を一向に任せられない、チームが全然一つにならない、など、様々な悪影響が出てきます。では、そんな状態から抜け出すには、どうすればいいのでしょうか？ ここではあなたが仕事を任せる前に心得ておくべき、3つの大事なポイントをご紹介します。

(1) 仕事を任せるには、まず自分の心の整理から



メンバーに仕事を任せられるリーダーに共通する点として、常に「泰然自若」*1 としていることが挙げられています。つまり、どんなことが起きても「どーん！」と構えている、そんな姿勢がメンバーたちに安心感をもたらしているのです。

確かにそんな状態だと、何か起きても「このリーダーなら安心だ」とメンバーは思うでしょう。では、どうしてそういう人たちは安心感があるのでしょうか。それは、彼らが何かことを起こす前には必ず「ひと呼吸」おき、何かことを進める前に準備をしているからです。ひと呼吸おいて、冷静になって現状を見てみる、そうすると、

忙しい時には見えなかったことがたくさん見えてくるのです。仕事を「任せる」か「任せないか」を判断するのはリーダー。そして「任せた」責任もリーダーにあります。まず落ち着いて、自分の心の整理をできる人が、仕事をうまく任せられる人なのです。

(2) メンバーのこと、ちゃんと理解していますか？

任せられない人の多くは、任せられない理由に、必ずと言ってよいほど、メンバーのスキル不足をあげます。しかし、具体的にどんなスキルが欠けているのか、どんなスキルを身につければ仕事を任せることを可能なのか、そこまで、詳細に答えられることができるでしょうか。

任せる上で大切なことは、メンバーのスキルや能力をちゃんと理解することです。本書ではそのために、メンバーたちのスキル状況を簡単にチェックできる箇所もあり、それらを把握しておけば、仕事を任せるときも、冷静に、客観的に対応することができます。

人は誰でも、それぞれに強みと弱みがあるもの。まずそれらを把握した上で、仕事を任せることが大切なのです。

(3) 最低限のルールと最大限の自由を与えよう

仕事を任せたら、なるべくその人の自主性に委ねたいもの。しかし、単に自由にさせてしまうと、混乱させてしまいかねません。このとき重要なのは、まず、チームや組織としての規範やルール、大事にしている価値観、理念などを理解してもらうことが大切です。その上で、「何をするか (WHAT)」「どうするか (HOW)」を可能な限り、メンバーに委ねるのです。

仕事の醍醐味の一つは、自分自身の裁量で「何をするか」「どうするか」を決めて動かすこと。それが若手の頃から出来ていれば、将来、生産性の高い仕事をしてくれる可能性が大きくなります。メンバーの「やりたい！」という気持ち、内発的動機に常に焦点をあて、本当の自発性や責任感を芽生えさせること、それがリーダーの重要な役割なのです。

こう見てくると、リーダー自身がいかにか「事前にちゃんと準備をするか」が、「自分でやったほうがはやい」から抜け出す一つのカギとなりそうです。

確かに、どんなことでも成果を決める重要な要素の一つに、PDCAのP (PLAN)、つまり事前準備が万全にできているかどうか、があります。仕事を任せる場合も、万全な準備ができているからこそ、冷静に、そして客観的にチームやメンバーをみつめられるのです。

メンバーに任せようか考えているときに、「自分でやったほうがはやい」と少しでも思ったら、まずひと呼吸おいて、仕事やメンバーの状況を考えてみてはいかがでしょうか。

一旦冷静になれば、落ち着いて、客観的に現状を見られるようになり、それまで隠れていた新たな可能性が見つかるかも知れませんよ。

*1 「**泰然自若**」落ち着いていてどんなことにも動じないさま。▽「泰然」は落ち着いて物事に動じないさま。「自若」は何に対してもあわてず、驚かず、落ち着いているさま。

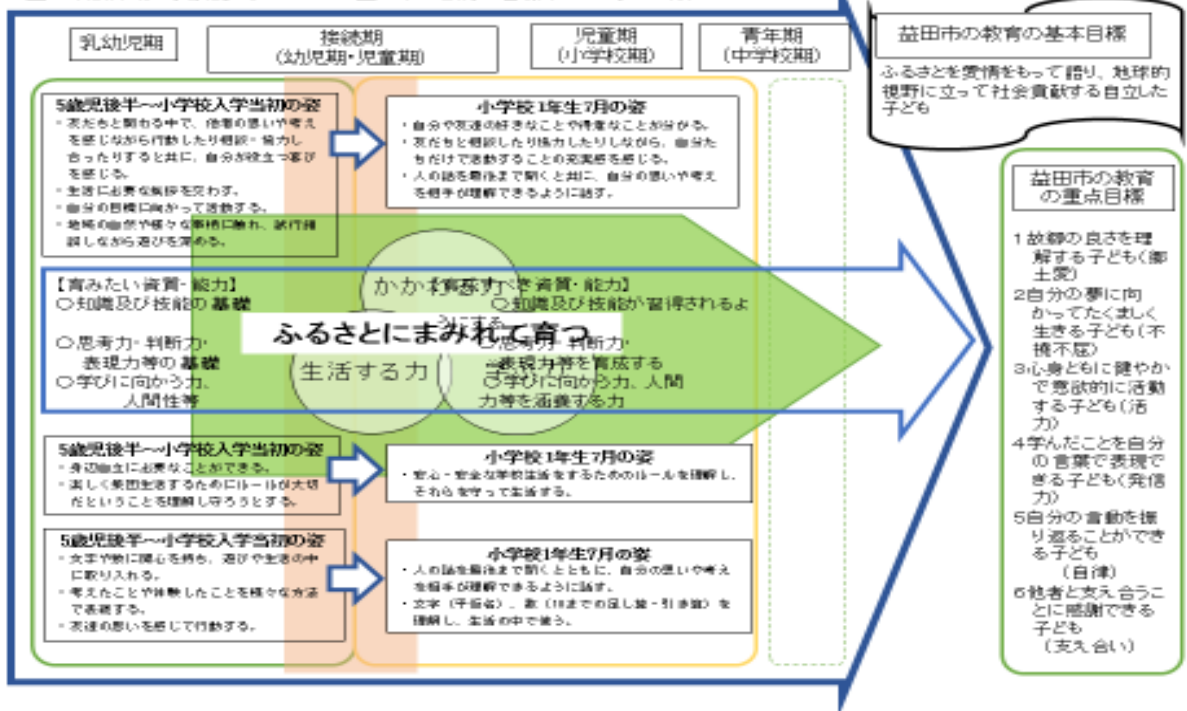
「益田市版保幼小接続カリキュラム」について

(認) 神田保育園 園長 塩満恭子

今年2月、益田市保幼小連絡協議会で、保育研究会と教育委員会が連携をし、「益田市版保幼小接続カリキュラム」を作成しました。これまでも、保小交流活動を実施したり、連絡会を設けたりするなど、スムーズな接続に向けて、各園様々な取り組みをされていますが、益田市として、接続部分、つなぎを意識した共通の文書はありませんでした。そこで、この4月から改定された保育所保育指針、今後改定される小学校学習指導要領を踏まえ、保（保育所）幼（幼稚園）こ（認定こども園）小（小学校）が共に子どもの発達や育ちを理解し、連続性をもった保育・教育ができるよう、接続カリキュラムを作成しました。乳幼児期は、5領域の内容を遊びや生活を通して総合的に学んでいくのに対して、小学校は、各教科の学習内容を授業を通して学んでいくなどの違いがあり、子ども達にとって大きな環境の変化があります。今回のカリキュラムでは、これらの学び方の違いや段差を保育所・認定こども園職員も、学校教員もお互いが理解できるよう明記しています。

今後、このカリキュラムを活用したり、連携活動を行ったりしながら、各園で子ども達が遊びや生活を通してどんな学びをしているか、また、私達がどんな意図をもって関わっているのかなどを小学校へ伝えていく必要があると思います。私達の行う乳幼児教育は、学校の準備教育ではなく、子どもの発達や育ちにそった学びを行っているということを小学校に伝え、各園の保育・教育で育まれた子ども達の力をさらに小学校でより豊かに伸ばしていけるような連携ができればと思います。

③益田市版保幼小接続カリキュラム～益田市の教育の目標(めざす子ども像)～



詳しい資料は29年度2月所長会にて各園に配布しております。是非ご一読いただき、今後の保育に活用していただければと思います。

保育中のおもしろエピソード集

～ こんな場面、ある！ある！！（笑） ～

○ <おったかね？>（0歳児）

一生懸命に自分でズボンを履こうとしている。足が入ったけど中々思うように通らない。ズボンの裾から覗き込み「おーい」と自分の足を呼んでいました。

○ <どこが悪いの？>（2歳児）

病院ごっこをしていた2歳児のNちゃんとKちゃん

Nちゃん「注射したんよー」

保育士「どこがわるいん？」

Kちゃん「なか（仲）がわるいんよー」

○ <海へ！！>

お散歩（海）に行った時のこと。

子…「もうーうみたいへん」

先生…「なんで？」

子…「うみがついてくるんよ～！」



○ <どこへ飛んでく？>

とある朝 登園時に玄関で転んでしまい泣いている子どもに、母親が一言

「痛いの 痛いの、父さんに飛んで行け～！」って…（爆笑）

○ <ここが痛い…>（5歳児）

年長児Tちゃんとの朝の会話。

「先生、Tね、ここが痛いんよ」保育士「そうなん。どこが痛いのか？」

Tちゃん「(膝をさすりながら) 背骨！！」保育士「そうなんだァ」

○ <志村けん！？>（3歳児）

子ども達「ねえサンタさんのプレゼント何だった」

A子「私はね～シルバニアファミリーだったよ」

B子「あっ！私もシムラファミリーの冷蔵庫だった。A子ち

ゃんもシムラファミリーもらったんだー。いっしょだネ」

A子「う～ん。一緒だね…」



○ <髪の手!?>

給食の月見汁を見て

子…「先生、今日髪の手がいっぱいはいっとるよー」

先生…「それねえ、とろろこんぶって言うんよ」

子…「こんぶなんかー！えかった」



○ <想像できる・・・？の話> (4歳児)

数日間、貼り続けられたカットバンの匂い

C子：「先生！ここ痛い」

先生：「わっ（・__・；）カットバン張り替えてないろー！！そこ匂ってみんちやい」

C子：「ん・・・。りんごジュースの匂いがする。」

先生：「え～！？本当？」確認してみると、臭っ鼻がしばらく利かなくなりました。

○ <私（保育士）のせい!?> (未満児)

おやつ時間、バランスを崩して椅子からずり落ちた

Hくん：「わ～ん」

と顔を見て泣きながら体勢をキープして保育士を指します。

保育士：「え？ずり落ちたの、私のせい？」



○ <お手上げです>

給食中、床マットに落ちた食べ物を拾って・・・

Cちゃん：「これ食べる？」

と色々拾っては保育士に食べさせようとしています。

保育士が食べる真似をするまで、このやりとりは続きました。

○ <先生も疲れています・・・の話>

鏡に映った保育士の顔を見て不思議そうに質問する子ども。

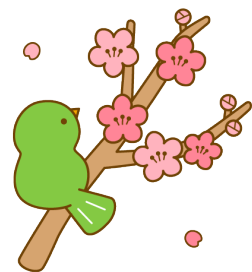
K児：「先生、鼻クソ美味しい？」

先生：「えっっ??食べないよ」

K児：「唇にくっついとるよ」

先生：「これはヘルペス！！疲れとるんよお」

K児：「?ふ～ん。」



○今まで見たことのない鼻風船の子どもを撮ろうか撮るまいか悩む私…。

○園長先生！呼ばれるたびに仕事増え

たくさんのおもしろエピソードお届けいただきありがとうございました。
次回もたくさんのおエピソードお待ちしております。

平成 30 年度保育研究会会員施設一覧表

施設名	施設長名	施設名	施設長名
中須保育所	辻 千津子	緑ヶ丘保育所	新田 千恵子
高津保育園	松尾 伸	(認) 神田保育園	塩満 恭子
まるに保育所	本田 行信	(認) 原浜保育所	吉村 里恵
若葉保育園	須山 成顕	(認) 明星保育園	城市 泰紀
横田保育園	村穂 孝彦	わかくさ保育園	須山 信光
梅賀山保育園	小川 裕史	須子保育園	須藤 雅子
遠田保育園	佐々木白文	川登保育園	山口 真
小野保育所	伊藤 近徳	豊川保育園	河野 利文
北仙道保育所	山崎 静香	めばえ保育園	田中 文仁
真砂保育園	本田 行尚	すみれ保育園	岩井 和恵
鎌手保育所	寺田 裕見子	(認) 吉田こども園	渡辺 理絵
雪舟保育所	和崎 純子	都茂保育所	廣兼千代子
(認) 益田ひかり保育所	戸佐間 和子	東仙道保育所	福田 綾子
葵保育園	山本 条子	匹見保育所	斎藤 芳文
常盤乳児園	伊藤 綾子		

(認) … 認定こども園

編集後記

今年の桜はとても早く咲き、新年度を迎える頃には満開を迎えました。寒い冬を耐え忍び、2～3日の間にあっという間に花を咲かせました。子ども達に接している私たちにも同じことが言えるのではないかと思います。一人ひとりの子ども達に向き合い、どうすればその子に対して一番よい結果がでるのか、毎日毎日悩みながら、助け合いながら、そして楽しみながら子ども達に向かい合っておられることなのでしょう。いつか最高の笑顔の花を咲かせてくれることを信じながら、今日も子どもと向き合っておられる先生方、同じような思いを抱えながら保育をしている“なかま”が益田市にはたくさんおられます。今年度もみんなで協力しながら子ども達の未来のために頑張っていきましょう。

益田市保育研究会情報発信委員会

委員長 松尾 伸 (高津) 副委員長 本田 行信 (まるに)
 委員 須山 信光 (わかくさ) 委員 藤井 初美 (神田)
 委員 菅 奈央子 (雪舟)

この機関紙に対するご意見・ご感想をお寄せ下さい。あて先はこちら↓まで
 益田市保育研究会情報発信委員会：メールアドレス masuho@image.ocn.ne.jp
 ホームページ : URL <http://masuho-k.jp/>